

第11期AITC Webセミナー「DXシリーズ第1回～オープニングイベント」
2021年1月27日

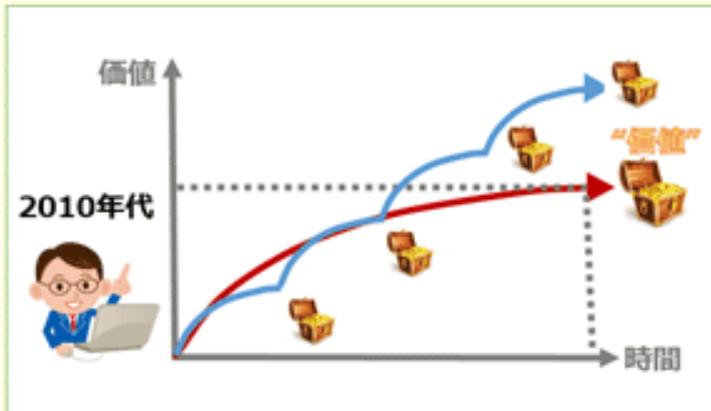
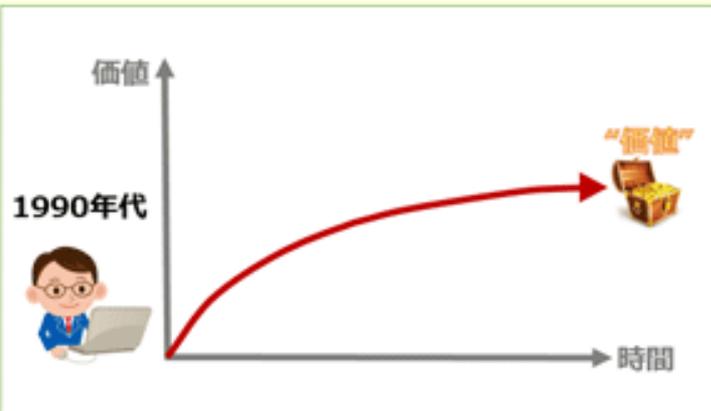
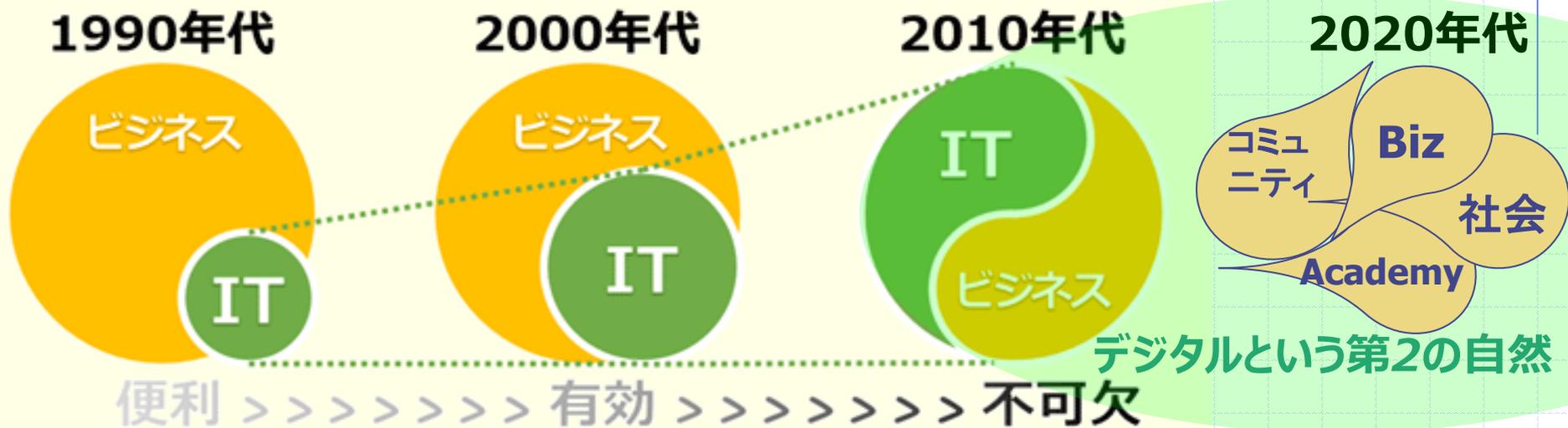
DX時代のリベラルアーツとして のアジャイルマインド ～アジャイル×トラパタ～ 「第5回 3月24日セミナー」への予告編

IPA非常勤 研究員 (アジャイルWG主査)
株式会社豆蔵 取締役・カンパニーCTO
技術士 (情報工学) 羽生田栄一



Hanyuda Eiiti, IPA

ビジネスとITの関係性のパラダイムシフト



現代の「IT人材」の課題地図

どのようなフォースの下で仕事をする必要があるのか

<現場・環境イノベーション>

ロボット/VR/モバイル・ビッグデータ解析
ユーザ/サービス/ドメイン指向・APIエコミー

<テクノロジー>

クラウド/IoT/分散プラットフォーム技術
AI・NLP・セキュリティ・ブロックチェーン

第2象限

現場や業務領域や
問題空間への対応

対象

Service
Product
Process

第1象限

設計し構築・保守すべき
システムとテクノロジー
への対応

+ 1象限 Δt

ダイナミックな
社会の変化への
対応スキル

問題領域

第3象限

クライアントや利害関係者
異業種、社会、地域、異文化
とのコミュニケーション

Team
Project
People

開発領域

第4象限

ソフトウェアシステムを
作り出す開発チームの内部
のコミュニケーション

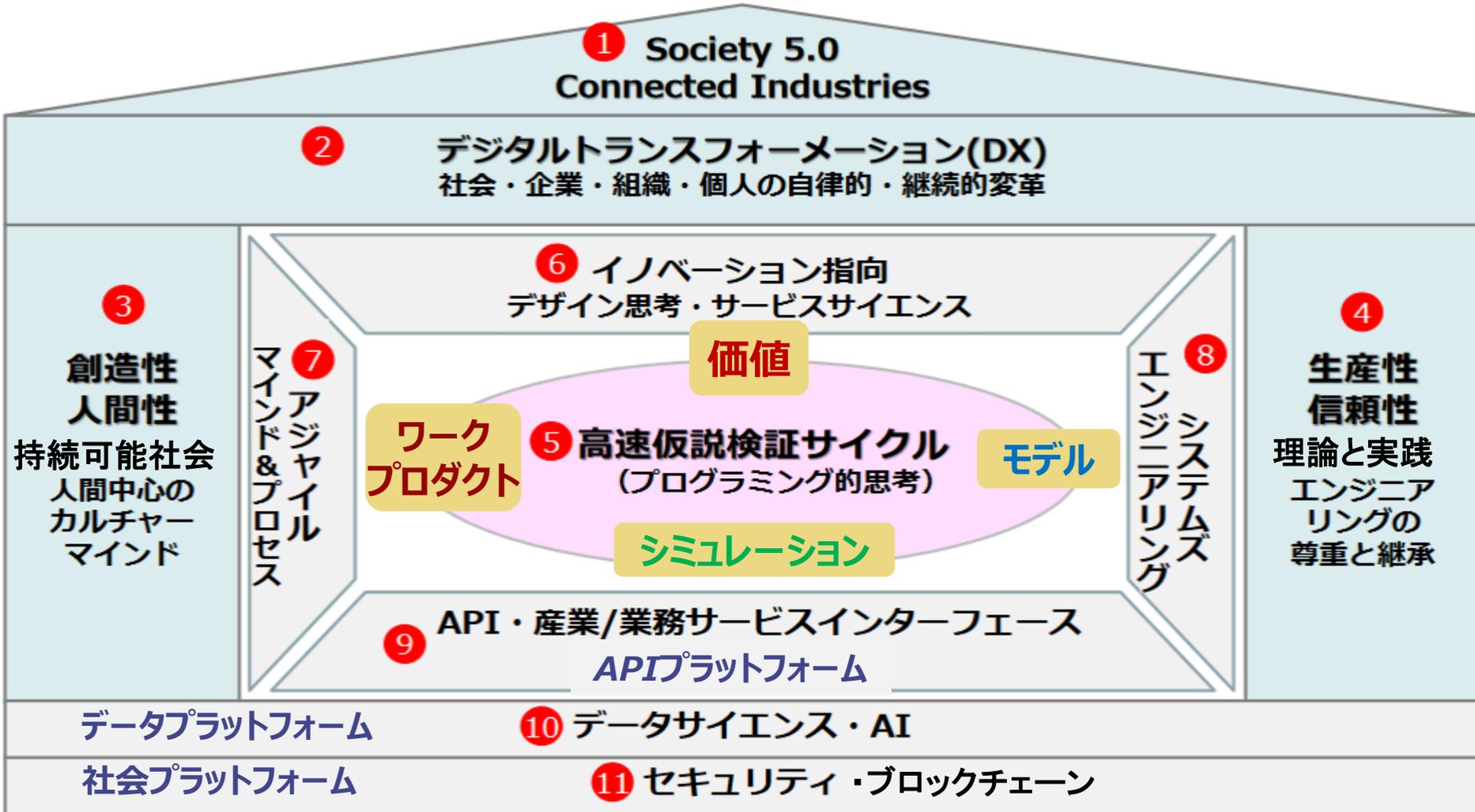
アジャイル開発&DevOps・形式手法
モダン・プロジェクトマネジメント

ひと

<社会・個人イノベーション>

<組織イノベーション>

デジタルトランスフォーメーションDXに向けた スキル変革の方向性



アジャイルやDX導入に取り組むためのマインドチェンジ

→ 知恵の言語化：パターンランゲージ『トラパタ』



◆ コミュニティの知恵を言葉のネットワークに
まとめた「ナレッジ共有言語」

◆ パターン「状況-課題-解決のヒント-関連」

が繋がって解決のヒント提示

◆ 組織を跨いで状況や課題を共有し解決の糸口をさぐる場での**共通の言葉**

A1 未来妄想力

A2 社会課題は未来の芽

A. ビジョン（変革のあり方）

不確実な時代を生き抜くためのビックピクチャを描く

B. ストラテジー（変革のありみ方）

B10 チャレンジ特区

B2 枠を外して考える

B5 共感から発信へ

ビジョンを実現するための戦略を立てる

顧客視点で魅力を引き出す

シナジーを発揮できるよう磨き上げる

繰り返しやってみよう、任せてみよう

B4 顧客も知らない顧客

B9 多文化の架け橋

C. マインド・カルチャー（変革のつかみ方）

心理的安全な場づくりへ

共通・共有から共創へ

自分ゴトから社会ゴトへ

C2 ようこそ失敗

C9 人の輪、知恵の輪、

ビジネスの輪 Hanyuda Eiiti, IPA

まとめ：これからの仕事人・社会人の**基本教養** ＝リベラルアーツとしての**アジャイルマインド**

- ◆ DX時代にIT人材の位置づけが大きく変わる。今までIT人材と想定していなかった人々がITとビジネスのブリッジを行う重要な人材と見做され組織や社会で重要な仕事を担うようになってくる
- ◆ Society5.0やInsustrie4.0を梃子にして、よりよい社会の実現に向けて、データ分析やIoTやAIの技術スキルを習得するという以上に、「**観察して**」「**失敗を恐れず**」「**問題を見つけ**」「**仮説を立て**」「**関係者と協力して**」「**実際に試してみ**」「**結果を検証して**」「**問題や仮説の見直しを行う**」ことのできる**柔軟で健やかな好奇心のある普通人**が求められる
- ◆ これが現代の教養であり、エンジニアだけでなく社会のあらゆる分野の一般の人々が共有すべきマインドとなる。そのためのトランスフォーメーションのヒントが**トラパタ**である

➔ 詳しくは第5回 3月24日のセミナーで！